


『タスカル シート』取扱説明書 2017年12月版  
(有)青葉テクノソリューションズ

このたびは、立ち上がり補助座面『タスカル シート』をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

『タスカル シート』は、ご利用者の椅子からの立上りをアシストして生活の自立を手助けし、介助者の身体負荷も軽減するものです。ご利用になる前に、この説明書をお読みください。

はじめに

 禁止事項

- 1：椅子は、動かぬようしっかりと固定してご利用ください。  
車椅子で利用される場合は、両輪にブレーキをかけてください。  
キャスター付きの椅子や回転椅子、あるいは滑り易い床では、着座や起立をする時に椅子が動いてしまい、後方へ転倒する危険があります。
- 2：適切な座面高さの椅子と組合せてご利用ください。  
タスカルシートに着座している時に両足が床から浮いているような場合には、起立する時に体が勢いよく前方へ押し出される可能性があり、危険です。
- 3：椅子にタスカルシートを載せた時、座りが安定していることを確認の上ご利用ください。  
座面の小さな椅子や座面が硬い曲面となっている椅子、あるいは

は折り畳み椅子などでは、タスカルシートが椅子座面から落下する恐れがあり、危険です。

- 4：ご利用の際は、タスカルシートの座面の周囲（縁）をつかんだり、側面の柔らかく黒い布地の部分に手を入れないでください。

【図1】参照

起立や着席の際に体を支えたい時は、肘掛付きの椅子をご利用ください。【図2】参照

昇降する座面と固定されている部品との間に指を挟まれる恐れがあり、危険です。【図3】参照

- 5：認知症の方、および認知に不安のある方はご利用できません。  
誤操作や意図しない操作によって危険が生じる恐れがあります。

- 6：要介護4以上の方は、自助具としてのご利用はできません。

起立後の立位保持のため、必ず介助を受けてください。

要介護3以下の方、および立位保持が不安定となる恐れのある方がご利用の場合は、テーブルや手すり、あるいは介助者など、起立後の体の支えとなる手立てを準備してご利用ください。

- 7：機械本体を分解したり、改造したりしないでください。

機能を逸失したり、動作が不確実となる恐れがあります。

とりわけ、ガススプリング（【図4】参照）には手を触れないでください。

高圧のガスや油が密封されていますので、破裂したり高圧の油が噴出したりして、危険です。

【図 1】

座面の縁を掴むのは危険です。



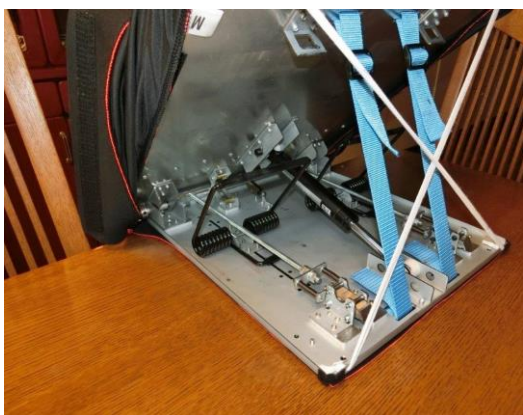
【図 2】

椅子の肘掛を使えば安全です。



【図 3】

内部構造です。  
(指を入れると挟まれます)



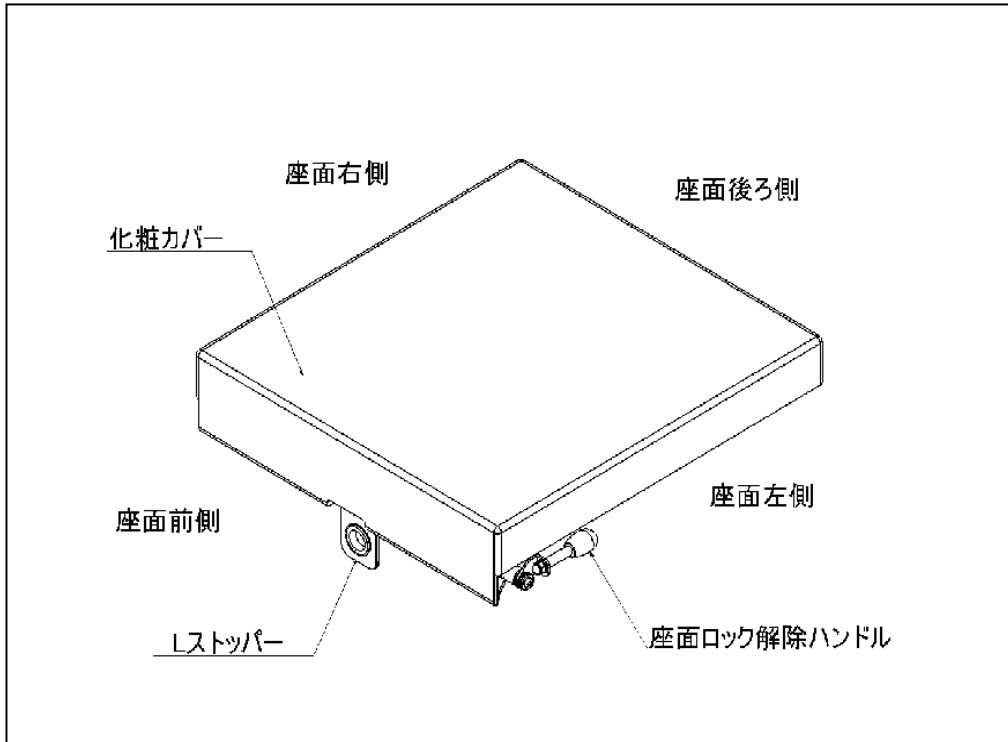
【図 4】

黒い円筒がガススプリング  
です。

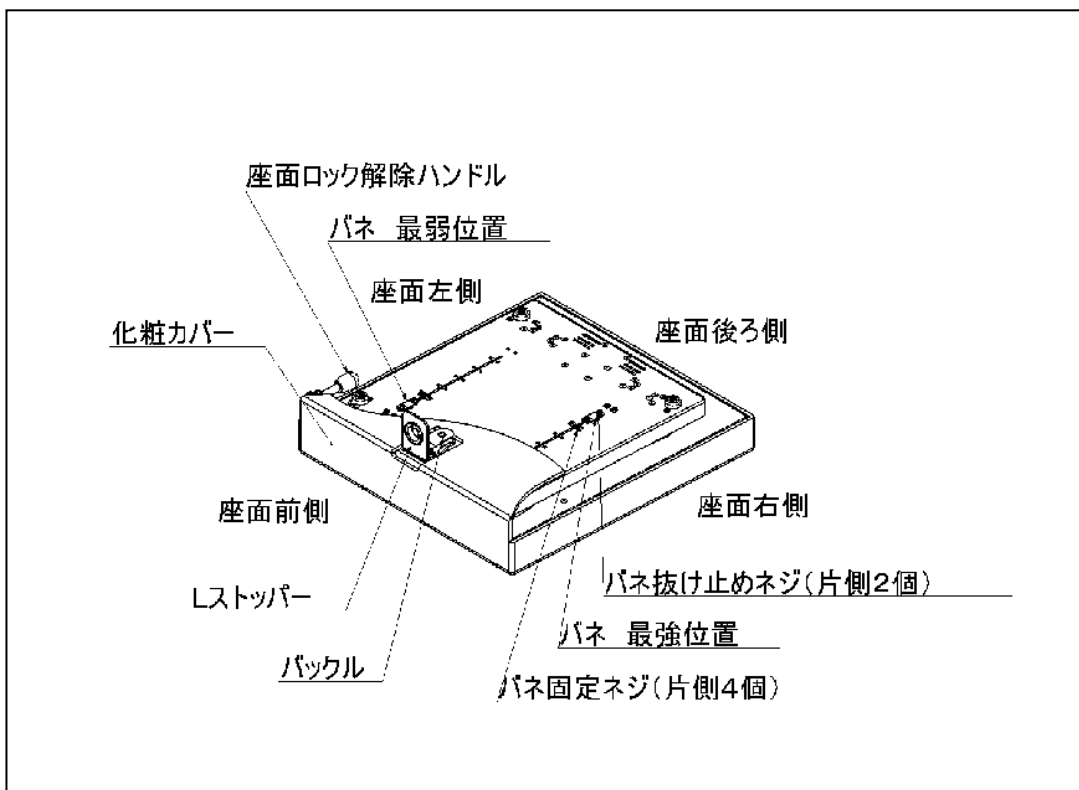


各部の名称

おもて面を見た図 (Lストッパーを使用の場合)



うら面を見た図 (バックルとLストッパー併用の場合)



## 安全性向上の仕組み

タスカルシートには、安全性向上のための下記の仕組みがあります。

### 1. 座面ロック機構

着座すると、座面は勝手に上昇しないよう水平位置でロックされます。着座中、立ち上がる意思がないのに、前屈みになったり体位を変えたときに座面が上昇し、利用者が滑り落ちてしまうことがないようにするためのものです。

着座し終えた時に、ロック動作音を確認してください。

### 2. ロック解除禁止機構

座面ロックは、着座しているときにのみ解除可能です。

着座していないときにハンドル操作でロックが解除できると、体重による荷重が無い分だけ座面が勢いよく跳ね上がってしまう危険を防ぐためのものです。

### 3. ハンドルオートリターン機構

座面ロック解除ハンドルは、座面が上昇する途中に自動的にスタート位置へ戻ります。

ハンドル戻し操作を忘れたとしても、次に着座した時に確実に座面ロック機構が働くようにするためのものです。

## 使い方

1. 車椅子でご利用の場合、タスカルシート下面の『バックル』を車椅子のシート前端に引掛けます。傾斜面に着座した時、タスカルシートが背もたれの方向へずれ動いてしまうのを防ぐた

めです。

椅子（ダイニングチェアやソファ等）でご利用になる場合には、『バックル』に換えて『L ストッパー』を取付け、更に『落下防止紐』で椅子からの落下防止をしてください。

椅子と車椅子のどちらでもご利用になる場合には、『バックル』と『L ストッパー』を重ねて取り付けてください。

2. 車椅子が動かないようにブレーキをかけ、『タスカル シート』の座面に『深く』腰掛けます。ロック解除ハンドルを操作して立ち上がった後、次に着座した時『ロック音』が聞こえれば、座面ロック機構が働いて座面が正しく固定された証です。
3. 着座中、立ち上がりたい時は、座ったままで、前方左側にある座面ロック解除ハンドルを、ハンドルに正対した時の反時計方向（上方または前方）へ『指1本の軽い力』で約45度だけ廻してください。クリック感と共にハンドルが停止した位置が、座面ロックが解除できた位置です。

ロック解除位置では、既に座面に持上げ力が働いています。

※ロックが解除できない時は、7頁の注記を参照ください。

4. 両足を床に付けてから片足を後ろに引き、両手を椅子の肘掛や前方のテーブルの上に置いてバランスを保ち、上体を前傾して立ち上がります。座面が臀部を押し上げてくれる感触が感じられます。押上力の設定が大き過ぎると体が前方に弾き出される恐れがありますので、弱めの設定から始めることをお勧めします。

- ご使用に慣れるまでは、どなたかの『介助』を受けてください。
5. 立ち上がりの途中で、ハンドルは元の位置（スタート位置）へ戻ります。（ハンドルオートリターン機構）
  6. 再び着座すると、座面が再びロックされます。

※注記：

- ①座面ロック解除ハンドルを操作した時、普段よりハンドルが重く感じられ、クリック感がないままに45度以上廻ってしまうのは、ロック解除禁止の安全機構が働いている状態です。座面に適正な体重をかけるため座面に『深く』座り直し、『背筋を立て』た姿勢で、ハンドル操作をやり直してみてください。
- ②座面ロック解除ハンドルを前方に倒し過ぎた状態で使用すると、ロック解除ができなくなる場合があります。ハンドルのスタート位置は、11時から3時の範囲でご使用いただくと動作が確実です。
- ③柔らかいソファや車椅子の場合、『タスカルシート』が置かれた座面が沈み込み、座面ロック解除ができなくなる場合があります。底面の両サイドにスペーサを取り付けてご利用ください。
- ④座面ロック解除が安定しない場合は、利用者の体重に対して持ち上げ力が強すぎる可能性があります。体重に見合った持ち上げ力とするため、バネの取付位置をハンドル側に近づけてみてください。

以上によってもなお、座面ロック解除が安定しない場合には、末尾に記載の弊社お客様係へご相談をお願いいたします。

よりよくお使いいただくために

1. 梱包の制約上、ロック解除ハンドルは、座面とほぼ平行にセットされていますが、ハンドルは、操作し易い位置、あるいは椅子の肘掛柱などが邪魔にならない位置へ角度を変更できます。着座してハンドルを動かし、お好みの角度まで回してください。
2. 立ち上がりをアシストする持上げ力は、下記の手順で持上げバネ取付位置を付け変えることで調整できます。

バネをハンドルに近い位置にする程、持上げ力は軽くなります。

- ① 座面が上昇した状態で裏返し、座面を下側にして卓上に置き、底面カバーを開く。【図5参照】
- ② プラスドライバーでバネ固定ねじ4個を外し、バネ抜け止めの小判型の部品を持ってスライドさせ、お好みの位置で固定し直す。【図6参照】
- ③ 同様にして、もう一方も同じ位置に付け変える。

【図5】



【図6】



持上げ力は、利用される方の体重の概ね25～35%が標準で



すが、お好みに合わせて強さを変えてご利用ください。

出荷時、持上げ力は、弱目にセットしております。

座面水平位置での持上げ力は、おおむね以下となっています。

	バネ最強位置	バネ最弱位置
Mサイズ (φ 5 バネ)	37kg	25kg
(φ 4.5 バネ)	29kg	20kg
(φ 4 バネ)	20kg	12kg
Sサイズ (φ 4.5 バネ)	27.5kg	22.5kg
(φ 4 バネ)	19kg	13kg

3. 着座した時、足が床から浮いてしまう場合には、低座面の車椅子や椅子のご利用をお勧めします。

タスカルシートご利用による座面高さの上昇寸法は、約 60～70 mm です。

4. 座面が上昇する角度は、ご指定の無い限り、出荷時 M サイズでは 42.5 度・S サイズでは 40 度に調整してあります。ストッパーベルトの調整で、上昇角度を少なくすることができます。

座面の上昇角度は、『最大 42.5 度』です。

これ以上にすると、ガススプリングが破損する恐れがあります。

5. 底面に取り付けるバックルや L ストッパーの位置は、固定ねじの付け替えで前後に 10 mm の調整ができます。座面後方が椅子の背もたれにぶつかる時や、逆に背もたれとの間の隙間が大き過ぎるときに、適宜付け替えしてください。

6. 化粧カバーは、着せ替えが出来ます。お好みのスペアをご用意ください。

#### 安全上のお願い

1. 椅子に載せてお使いになる場合、『L ストッパー』で後方へずれ動くのを防ぐと同時に、前方への滑り落ちを防止するため『落下防止紐』を椅子の背もたれや脚に固定してしてください。椅子を移動するなどのために傾けた時、『タスカル シート』が椅子の座面から滑り落ちる恐れがあります。
2. 廃棄の際は、ガススプリング内の高圧ガスを抜かなければなりません。ご希望の場合、弊社で廃棄処理を行いますので、弊社お客様係へお送りください。  
(恐れ入りますが、送料はご負担願います。)

#### お手入れの方法

1. 本体について、お客様の方で特別なお手入れは必要ありません。素手で機構部品に触れると汗の塩分のために錆びてしまったり、ガススプリングのロッドに給油を行うとオイルが劣化して動きが渋くなったりしますので、ご注意ください。
2. ガススプリングには寿命があります。内部のガスが徐々に抜けて力が弱くなっていきますので、交換が必要になります。また、バネにも寿命があり、数万回動作させると折れる場合がありますので、その前に交換が必要になります。

- 目安として、2年間ご使用になりましたら、これらの消耗部品を交換する『オーバーホール』をお勧めします。オプションで『メンテナンスパック』をご用意させていただいております。
3. カバーを清潔に保つため、汚れたらお手入れをお願いします。40度以下のお湯で優しく手洗いし、絞らず、濡れたまま日陰で吊り干しをします。座面の生地は独立発泡スポンジなので水がしみ込まず、短時間で乾きます。
- 洗濯機や乾燥機の使用、塩素系及び酸素系漂白剤の使用、アイロン仕上げ、ドライクリーニング、などは生地が傷むので、禁止です。

#### 詳しい情報

より詳しい情報は、弊社ホームページの『タスカル シート』の欄をご覧ください。弊社タスカルお客様係へご相談ください。

#### 連絡先

タスカルお客様係へのご相談は、下記へご連絡ください。

担当 : 藤 伸一郎

Mail : [info@tasca.co.jp](mailto:info@tasca.co.jp)

電話 : 090 - 4315 - 5084

FAX : 022 - 786 - 0364

住所 : 〒983 - 0021 仙台市宮城野区田子 1-20-17